



### 3. 観光都市長門の顔づくり

「何度でも行ってみたいくなる魅力都市・長門の創出」に向けた取り組み等

 <p>やきとリンピックが5年ぶりに長門市にやってくる</p>	集客イベント推進事業	全国やきとリンピック、ながと仙崎花火大会、N-1グランプリ、汗汗フェスタ等の開催経費を一部補助する	10,060
	ながと成長戦略推進事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 依山地区散策したくなるまちづくり推進事業</li> <li>* 依山温泉まちづくり交流施設整備事業</li> <li>* 宿泊地等魅力創造支援事業</li> <li>* 仙崎まちなか金子みずゞギャラリー事業</li> <li>* 戦略的情報発信事業</li> </ul>	3,100 1,916 3,600 1,885 7,800


### 4. 産業振興による活力あるまちづくり

雇用拡大への積極的支援や産業振興による地域経済活性化に向けた取り組み等

 <p>山口県畜産共進会でも評価の高い長門の牛</p>	地域雇用創出事業	新たに正社員を雇い入れ、継続的な雇用を創出する市内事業所に対して賃金の1/2以内を補助する(上限有り)	45,390
	優良繁殖雌牛導入事業	市が保有する繁殖雌牛の貸付や購入経費の一部を補助する	11,854
	その他事業	長門市水産物需要拡大推進事業 県営中山間地域総合整備事業 * 農地集積・基盤強化推進事業 * 販路開拓支援事業	2,000 45,000 10,102 12,000


### 5. 交流・連携・協働による市民主体のまちづくり

地域課題克服のため、市民と行政が一体となった協働へ向けた取り組み等

 <p>青海島地区では都市部の高校の修学旅行を受け入れている</p>	地域おこし協力隊設置事業	青海島地区に新たに地域おこし協力隊員を配置する	11,706
	市民活動団体活性化事業	市民活動団体が主体的に企画・実施する公益性の高い事業について補助する	1,769
	その他事業	集落機能再生事業 お互い様ネットワーク地域協働交付金事業	5,219 4,900


### 6. スポーツの振興によるまちづくり

「スポーツをして、みて、ささえる『チームながと』の実現」に向けた取り組み等

 <p>スパスタジアムは山口県の新たなラグビーの聖地に</p>	ながとスポーツ公園整備事業	ジョギングコース、グラウンドゴルフコース、多目的広場等整備	60,000
	ラグビーワールドカップキャンプ招致事業	2019年に日本で開催されるラグビーワールドカップのキャンプを招致する	750
	その他事業	我がまちのスポーツ推進事業 全国健康福祉祭開催準備事業 全国少年少女野球教室開催事業	11,080 1,600 211

### 7. 行財政改革の推進

第3次長門市経営改革プランに基づく「経営型」の行政運営に向けた取り組み等

 <p>職員研修のようす。経営感覚を学び、市民サービス向上のため取り組む</p>	職員研修事業	一般研修のほか、県や下関市など自治体間、他団体との人事交流を実施する	8,773
	日置支所庁舎移転事業	日置保健センターを支所として整備し、移転する	9,829
	地方公営企業法適用移行支援事業(下水道事業)	平成28年度からの地方公営企業法の一部(財務)適用に向けた移行準備業務を行う	26,946

## 平成26年度予算を徹底解説

# 「ながと再生実行予算」

平成26年度予算は、「地域の再生」と「全国に誇れるまち創り」を本格的に実行していくための「ながと再生実行予算」と位置付けました。国や県と連携を密にし、一つひとつの取り組みを効果的で実効性の高いものへと磨きあげていくとともに、中長期的な施策展開を見据えた予算としています。

## 2つの基本方針

### 方針1

「ながと成長戦略」の着実な推進

平成25年9月に策定した「ながと成長戦略行動計画」に掲げる「5つの目標」と「18の具体的な取り組み」を実行に移していくための施策を展開していきます。  
また、これを統括的・総合的に進めるため、「成長戦略推進課」を設置しました。



▲施政方針を表明する大西市長

### 方針2

「チームながと」による協働の推進

「全国に誇れるまちを創る」ためには、市民、事業者、関係団体および行政が「チームながと」として主体的に参画し、かつ、連携しながら着実に進めていくことが肝要です。「市民の声をしっかりと聴き、市民と協働し行動する」ための予算確保のもと、協働の推進に積極的に取り組むこととします。

## 「7つの重点施策」の取り組み


平成26年度一般会計予算は、総額22億4千万円で、7つの重点施策を実現する施策展開を、最大限考慮した予算措置を講じたところです。その取り組み内容は、下図に示すとおりです。

## 7つの重点施策

\*は成長戦略事業(単位:千円)


### 1. 災害に強いまちづくり

大雨を含め、地震や風水害による被害を減じる「防災・減災」への取り組み等

 <p>自治会による防災訓練のようす</p>	防災行政無線整備事業	市民に正確かつ迅速な災害情報を伝達するため、屋外拡声器等を市内全域に順次整備する	367,000
	長門地区告知端末機整備事業	防災および行政情報伝達のため、屋外に持ち出し可能なFMラジオ受信の機能を有する告知端末機を通地区・依山地区に整備する	29,160
	その他事業	消防庁舎建設事業 消防機庫等整備事業 自主防災組織育成事業 橋りょう改修事業	82,347 15,940 1,596 34,960

### 2. 安心して暮らせる住みよいまちづくり

人口減少と少子高齢化の加速に対応した、市民が安心して暮らせるための体制や環境整備への取り組み

 <p>建設中の油谷小学校校舎</p>	合併処理浄化槽維持管理費補助金	専用住宅の合併処理浄化槽管理者に対し、法定検査に係る費用を補助する	3,630
	市営住宅田屋床団地建替事業	平成26年度16戸、平成27年度6戸建築	351,416
	その他事業	臨時福祉給付金および子育て世帯臨時特例給付金 学校施設耐震化事業 油谷小学校改築事業 長門市地域公共交通推進事業 新リサイクル施設整備事業 超高速インターネット接続サービス事業	213,212 447,000 987,791 4,365 14,148 13,550

## 「ながと成長戦略行動計画」の5つの目標に沿った事業展開

### 1. 地域資産の活用による高付加価値型商品・サービスの開発 (145,091 千円)

#### 目標：「ながとブランド」の育成



▲幻の高級魚と言われるキジハタ

- ・農地集積・基盤強化推進事業【重点】  
「一市一農場による農産物の安定供給体制づくり」を推進するため、農地の集積および再配分を県の設置する中間管理機構を活用し実施
- ・地域産品開発事業
- ・長州ながと和牛ブランド化事業
- ・長州黒かしわブランド化戦略事業
- ・種苗中間育成推進事業
- ・キジハタ種苗放流事業
- ・安心・安全な食づくり推進事業

### 2. 大都市圏への販路開拓 (44,340 千円)

#### 目標：「ながとブランド」の大都市圏展開

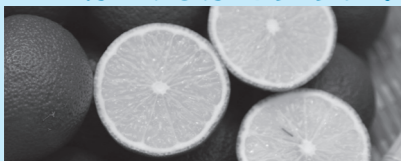


▲買い物客で賑わう海幸仙崎

- ・販路開拓支援事業【重点】  
「ながとブランド」の全国展開を目指し、大都市圏に長門の物産品を販売する会社を設立し、同会社への出資と販路開拓を支援
- ・成長戦略地域活性化プロジェクト推進事業  
直売施設を含む仙崎地区のグランドデザインを作成
- ・水産物等直売アンテナショップ運営事業等

### 3. 安心・安全な食づくりの推進 (3,130 千円)

#### 目標：「ながとブランド」の目に見える安心・安全化



▲その味が人気の長門ゆずきち

- ・伝統野菜等販売戦略事業  
伝統野菜の田屋なす、長門ゆずきち、白オクラおよび自然栽培米のテキスト化を行い、食材の有益性を市外に発信
- ・畜産堆肥活用対策推進事業
- ・安心・安全な食づくり推進事業等

### 4. 観光資産の魅力創出と連携 (67,258 千円)

#### 目標：何度でも行ってみたいくなる魅力都市・長門の創出



▲情緒あふれる俵山温泉旅館街

- ・俵山地区散策したくなるまちづくり推進事業【重点】  
俵山全体構想に掲げてある施策に地域が取り組む活動や温泉街のトータルデザイン策定への支援
- ・俵山温泉まちづくり交流施設整備事業【重点】  
湯治温泉再興のためのコア施設である旧川の湯を地元と湯治客の交流施設にリニューアルする取り組みの支援
- ・仙崎まちなか金子みすゞギャラリー事業
- ・宿泊地等魅力創造支援事業
- ・戦略的情報発信事業等

### 5. 後継者・承継者の確保および新規就業の創出 (69,634 千円)

#### 目標：「ながとブランド」や魅力ある観光資産をいつまでも絶やさないための体制確保



▲ながと成長戦略検討会議のようす

- ・ながと成長戦略検討会議開催事業
- ・長門市就農円滑化対策事業
- ・創業等支援事業  
創業等を考えている人を対象に、創業等支援相談会を開催
- ・経営体育成支援事業

## 7つの重点施策と連携する、成長戦略関連事業

全国的には、アベノミクス効果で景気回復の兆しが見られる中、本市においては依然として景気の低迷が続いています。

また、若年層の流出が著しい本市では、人口減少と少子高齢化が加速化しており、地域の活性化や住民福祉の向上が喫緊の課題です。

この課題の対応策として、平成25年度から5年間、農林水産業における「年収1,000万円」化と産業全体で「5年間で50人の雇用創出」を数値目標とした「ながと成長戦略



長門の自然、風土、特産品を市民と行政との協働で活かす

行動計画」の取り組みや集落機能再生に向けて取り組んでいます。

平成26年度予算では、前項の7つの重点施策と連携し、一体的に取り組むため、成長戦略行動計画に基づいた5つの目標に合わせて左ページのとおり予算が計上されています。

### 長門の自然や風土を生かす チームながとで取り組み

素晴らしい自然景観と温泉を有し、しかも、香月泰男画伯、童謡詩人金子みすゞなど、世界にも広がる文化的資産にも囲まれ、地域での繋がり・温かみを感じながら、安心して生活できるのが、ここ長門の良さ

です。雇用の場と所得の向上が確保することができれば、必ずや後継者は出てくるものと信じ、「18の具体的な取り組み」を着実に実行に移していきます。

行動計画の基本に、「ながとブランド」を全国に発信する取り組みを据えています。これは、本質的な価値とともに、「ながと」を戦略的なブランドに育て、「長門の自然資産・歴史資産・特産物等の資産」と「長門の歴史風土、健康や安全へのこだわり、そして、資産形成のストーリー」とを合わせ、「長門に住む人々の「人・自然に対するやさしさ」を一体として、外に向かって発信していくことを目指すものです。

事業者、農林・水産団体、学校、産業従事者などと、行政との協働、あるいはお互い同士の協働など、「チームながと」として、また国や県とも十分な連携を図りながら、これらの取り組みを実施します。

- 1 「ながとブランド」の育成
- 2 「ながとブランド」の大都市圏展開
- 3 「ながとブランド」の目に見える安心・安全化
- 4 何度でも行ってみたいくなる魅力都市・長門の創出
- 5 「ながとブランド」や魅力ある観光資産をいつまでも絶やさないための体制確保
- 6 水産物の安定供給体制づくり
- 7 水産物の高付加価値化の推進
- 8 販路開拓の推進
- 9 司令塔づくり（LLCの設立）
- 10 地元直売所の整備
- 11 安心・安全な農水産物づくり
- 12 循環型農業システムの構築
- 13 仙崎地区の観光振興
- 14 俵山地区の観光振興
- 15 湯本地区の観光振興
- 16 その他地区の観光振興
- 17 所得の向上および労働意欲の向上による後継者・承継者の確保
- 18 技術・事業経営の実習体験、受入体制の整備

(平成25年9月策定)

## 平成26年度一般会計予算を家計簿にすると

収入	金額 (万円)	割合 (%)
給料(市税)	500	16
パート収入 (使用料、手数料、諸収入等)	210	7
預貯金の取り崩し (財政調整基金繰入金)	30	1
親からの仕送り (地方交付税)	1,240	38
子ども手当 (各種交付金等)	110	4
住宅改築補助金等 (国・県支出金)	540	17
ローン借入れ (市債)	550	17
合計	3,180	100

貯金と借金	金額 (万円)
預貯金残高(基金残高)	770
ローン残高(市債残高)	3,720

支出	金額 (万円)	割合 (%)
食費(人件費)	550	17
医療費(扶助費)	460	15
ローン返済(公債費)	450	14
家の増改築費 (普通建設事業)	550	17
光熱水費等の生活費 (物件費、維持補修費)	420	13
自治会、サークル活動費 (貸付金・補助費等)	330	11
子どもへの仕送り (繰出金)	420	13
預貯金などの貯蓄 (積立金)	0	0
合計	3,180	100

※給料を年収500万円とした場合

### 財政用語の説明

市の予算や決算などでよく使われる用語について説明します。

#### 歳入

- **自主財源** 市が自主的に集められる財源のこと。市税、使用料、手数料、財産収入、繰入金、諸収入等がある
- ▼ **市税** 皆さんが、市に税金として納めたお金
- ▼ **財産収入** 土地や家屋など、市が所有する財産を貸し付けたり、売り払ったりして得られるお金
- **依存財源** 国や県から交付されたり、割り当てられたりする収入のこと。地方交付税、国庫支出金、県支出金、市債等がある
- ▼ **地方交付税** 皆さんが国に納めた税金の一部で、市の財政状況等にに応じて配分されるお金
- ▼ **国庫支出金・県支出金** 皆さんが国や県に納めた税金の一部で、特定の目的を達成するため交付されるお金
- ▼ **市債** 市が事業を実施するために、国や金融機関から借り入れるお金

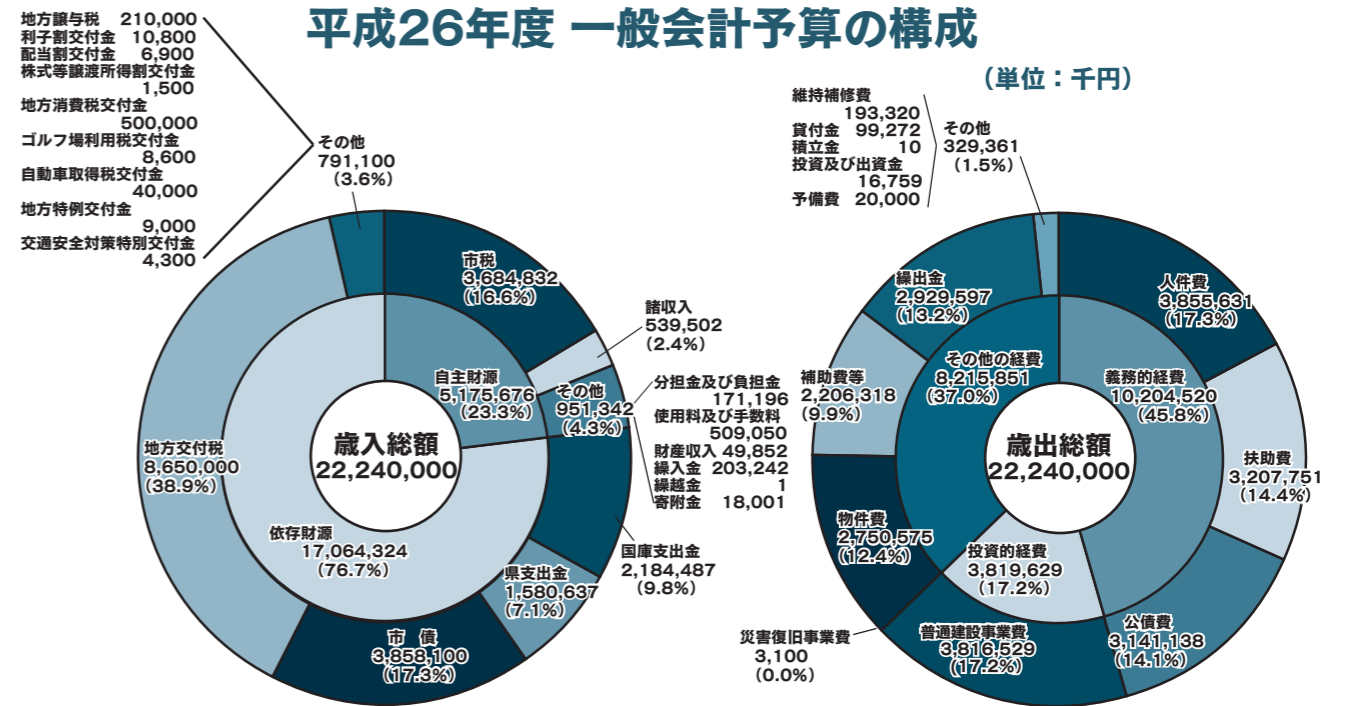
#### 歳出

- **義務的経費** 主に、その支出が義務づけられ、任意に節減できない経費。人件費、扶助費、公債費
- ▼ **人件費** 一般職員のほか、市長、副市長、議員および各種委員等の給与や報酬
- ▼ **扶助費** 生活困窮者、障害者、子ども、高齢者等の生活や医療の支援にかかるお金
- ▼ **公債費** 市の借金(市債)を返すために使われるお金
- **投資的経費** 主に公共施設の建設事業など、将来に残るもののために支出されるお金
- ▼ **普通建設事業費** 道路や学校、公園等の公共施設整備にかかるお金
- **物件費** 消耗品や備品の購入費、光熱水費、委託料等
- **補助費等** 個人や各種団体、一部事務組合への補助金や負担金等
- **繰出金** 特別会計に対して、建設費、事務費等のために支出されるお金
- **基金** 市が、特定の目的のために積み立てる資金

■ 問い合わせ 財政課 財政係

TEL 23・1254

## 平成26年度一般会計予算の構成



注) 左ページ下に用語について説明しています

会計別	予算額 (単位：千円)	前年度当初予算額 (単位：千円)	増減額 (単位：千円)	対前年度伸率 (単位：%)
一般会計	22,240,000	20,075,000	2,165,000	10.8
特別会計	12,431,703	11,685,904	745,799	6.4
国民健康保険事業	5,319,614	5,351,590	▲31,976	▲0.6
公共下水道事業	1,732,940	1,074,842	658,098	61.2
湯本温泉事業	91,098	93,635	▲2,537	▲2.7
漁業集落排水事業	107,374	106,430	944	0.9
農業集落排水事業	586,718	556,979	29,739	5.3
介護保険事業	3,801,506	3,774,160	27,346	0.7
電気通信事業	125,655	111,928	13,727	12.3
後期高齢者医療事業	666,798	616,340	50,458	8.2
一般会計+特別会計	34,671,703	31,760,904	2,910,799	9.2

### 各会計の予算について

平成26年度の全会計の予算規模は、346億7200万円となり、前年比プラス29億1100万円、プラス9.2%と大幅な増額となりました。

これは、主に一般会計の増額によるもので、**防災行政無線整備事業**(対前年度比3億6700万円、皆増)や**萩市と共同実施している新可燃ごみ焼却施設整備に係る負担金**(対前年比4億8500万円、155.9%増) **市営住宅田屋床団地建替事業**(対前年比3億2000万円、1014.7%増) **油谷小学校改築事業**(対前年比2億8200万円、39.9%増) など、継続事業として実施している大型建設事業費の増によるものです。

特別会計では、公共下水道事業で、東深川浄化センター整備事業などの**長寿命化計画に基づく施設更新および維持管理による事業費の増**(対前年比6億2400万円、407.8%増)などとなっております。

また、電気通信事業では、**超高速インターネット接続サービス事業**(対前年比1400万円、皆増)の開始による事業費の増などとなっております。